

平成 27 年度

決 算 報 告 書

第 12 期事業年度

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

国立大学法人 高知大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人高知大学
(単位：百万円)

区 分	予算額 (年度計画)	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収 入				
運営費交付金	10,086	10,308	222	(注1)
施設整備費補助金	278	197	△ 81	(注2)
補助金等収入	605	757	152	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	-	
自己収入	19,249	20,158	909	
授業料、入学料及び検定料収入	3,144	3,038	△ 106	(注4)
附属病院収入	15,824	16,752	928	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	280	367	87	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,609	1,687	78	(注7)
引当金取崩	121	166	45	
長期借入金収入	1,335	228	△ 1,106	(注8)
目的積立金取崩	812	185	△ 627	(注9)
計	34,152	33,743	△ 409	
支 出				
業 務 費	29,381	29,577	196	(注10)
教育研究経費	12,922	12,415	△ 507	
診療経費	16,458	17,162	704	
施設整備費	1,669	482	△ 1,187	(注11)
補助金等	605	757	152	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,609	1,636	27	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	888	887	△ 1	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	34,152	33,339	△ 813	
収入－支出	-	404	404	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特別経費が措置されたこと、業務達成基準適用事業の一部が前年度より繰越となったことにより、予算額に比して決算額が222百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階で予定していた病院再開発事業の一部が中断となったため、予算額に比して決算額が81百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が152百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階では予定していなかった授業料免除額の増、入学者数の減少により予算額に比して決算額が106百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、高額な新薬による治療の開始や抗がん剤治療の増により外来診療単価が大きく増加したこと、新病棟稼働により患者数・診療単価ともに増加したこと等により、予算額に比して決算額が928百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費の受入増加等により、予算額に比して決算額が87百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度以前における繰越額を今年度に支出した98百万円を含めて計上しています。
- (注8) 長期借入金収入については、病院再開発事業の一部が中断となったため、予算額に比して決算額が1,106百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、第3期中期目標期間の病院再開発事業の一部を充てることとしたため、予算額に比して決算額が627百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、退職手当や業務達成基準適用事業の一部が繰越となったため、予算額に比して決算額が196百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)及び(注8)の理由により予算額に比して決算額が1,187百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)の理由により予算額に比して決算額が152百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、前年度以前における繰越額を今年度に支出した98百万円を含めて計上しています。